

長岡市管路情報即時共有システム導入業務委託
簡易評価型プロポーザル
選定評価基準書

令和元年6月

長岡市水道局工務課

本選定評価基準書（以下、「本書」という。）は、長岡市水道局が実施する管路情報即時共有システム導入業務委託にかかる簡易評価型プロポーザル方式による受託候補者の特定にあたって、管路情報即時共有システム導入業務委託審査委員会（以下、「審査委員会」という。）において実施する技術評価の方法と基準を定めるものである。

1 受託候補者の特定方法

- (1) 受託候補者の特定は、審査委員会において本書に基づき実施要領に定める技術提案書の評価を行い、特定する。
- (2) 獲得点数は、審査員の点数の平均とし、この平均点数（整数以下四捨五入）の最も高い業者1者を特定する。
- (3) 最高得点者が複数の場合、または審査対象者が1者のみの場合は、委員による審議のうえ、委員の挙手による多数決により受託候補者を特定する。
- (4) 技術提案書の評価表及び配点は、「別紙」のとおりとする。

2 失格

次のいずれかに該当する場合は、失格とする。

- (1) 提出期限内に、技術提案書等が提出されなかった場合。
- (2) 技術提案書等に虚偽の記載があった場合。
- (3) 審査の公平性に影響を与える行為があった場合。
- (4) プレゼンテーション及びヒアリングに出席しない場合（原則として、遅刻を含む）。
- (5) その他、実施要領に定めた条件を満たしていない場合。

受託候補者特定基準（500点満点）

(1) 技術提案書の評価項目、判断基準、ならびに技術点は以下のとおりとする。

① 技術提案者評価（60点満点）

評価項目	評価の着目点		配点
		判断基準	
参加表明者（企業）の 経験及び能力	成果の 確実性	<p>（様式第4号）</p> <p>平成21年度から本公告日までに完了した同種又は類似業務の実績を下記の順位で評価する。</p> <p>①同種業務の実績が2件ある</p> <p>②同種業務の実績が1件、類似業務の実績が1件ある</p> <p>③同種業務の実績が1件ある</p> <p>④類似業務の実績が2件ある</p>	<p>①20点</p> <p>②15点</p> <p>③10点</p> <p>④5点</p>
技術者要件（企業）	所有資格	<p>（様式任意）</p> <p>資格の保有数により、下記の順位で評価する。</p> <p>①4つ</p> <p>②3つ</p> <p>③2つ</p> <p>④1つ</p> <p>※対象となる資格</p> <p>a)プロジェクトマネジメント・プロフェッショナル（PMP）</p> <p>b)プロジェクトマネージャー（PM）</p> <p>c)ネットワークスペシャリスト（NW）</p> <p>d)情報処理セキュリティマネジメント（SG）</p>	<p>①20点</p> <p>②15点</p> <p>③10点</p> <p>④5点</p>
企業の財務状況	長期に渡っての システム保証	<p>（様式任意）</p> <p>企業の自己資本比率（直近の決算の内容で算出）を下記の順位で評価する。</p> <p>①50%以上の場合</p> <p>②40%以上50%未満の場合</p> <p>③30%以上40%未満の場合</p> <p>④30%未満の場合</p>	<p>①20点</p> <p>②15点</p> <p>③10点</p> <p>④5点</p>

② 実施方針など（140点満点）

評価項目	評価の着目点		配点
		判断基準	
実施方針・ 取組体制・ 実施手順・ 業務工程そ の他 (様式第8 号)	実施方針	基本的な考え方、内容の理解度が高い場合に優位に評価する。	40点
	取組体制	業務実施組織及び連絡体制が構築され妥当性が高い場合に優位に評価する。	30点
	実施手順	業務実施上の配慮事項が検討され妥当性が高い場合に優位に評価する。	30点
	業務工程	業務量の把握状況を示す工程計画の妥当性が高い場合に優位に評価する。	20点
	保守体制	導入後のシステム保守に関するサポート体制が低廉で効率的、効果的、現実的な場合に優位に評価する。	20点

③ 評価テーマ（300点満点）

評価項目	評価の着目点		配点	
		判断基準		
評価テーマに関する 技術提案 (様式第9号)	全体	評価テーマ間の整合性	相互に関連する複数の評価テーマ間の整合性が高い場合は優位に評価し、矛盾がある等整合性が著しく悪い場合は評価しない。	30点
	評価テーマ1～3	的確性	システムの活用方法について、具体的な提案がなされ、整合性が高い場合は優位に評価する。	90点 (30点×3テーマ)
			着眼点、問題点等が適切かつ論理的に整理されており、本業務を遂行するにあたって有効性が高い場合に優位に評価する。	
			事業の重要度、難易度を考慮した提案となっている場合に優位に評価する。	
	実現性	提案内容に説得力がある場合に優位に評価する。	90点 (30点×3テーマ)	
		他都市での導入実績があり、実際にシステムを活用した事例などが明示されている場合に優位に評価する。		
		標準的な操作に関して、取扱説明書を見なくても直観的に操作できるなどの工夫がされている場合に優位に評価する。		
独創性	システムの活用方法について、独創性が高い場合に優位に評価する。	90点 (30点×3テーマ)		
	技術的知見に基づく全く新しい提案がある場合に優位に評価する。			

【 別紙 】

評価テーマ 1 :

大規模災害時等において、本システムを活用した支援に関する技術提案

評価テーマ 2 :

本システムを用いた通常業務における活用方法及び水道サービスの向上を図るための技術提案

評価テーマ 3 :

個人情報の取り扱いやセキュリティについての技術提案

(2) 点数一覧

評価項目	配点
技術提案者評価	60点
実施方針など	140点
評価テーマ (全体)	30点
評価テーマ (3テーマ)	270点
合計	500点